

第8回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座

日 時 平成30年3月4日（日）午後1時30分～4時

場 所 三重県歯科医師会館 2階 大会議室
(津市桜橋2丁目120-2)

※公共交通機関をご利用ください。

主 催 三重県・三重県歯科医師会・三重県歯科衛生士会

対 象 歯科医療従事者、介護関連行政職、介護職員等

講 師 医療法人社団 敬崇会 猪原歯科・リハビリテーション科
副院長 猪原 健 先生

日 程 13:30～13:40 開会 挨拶

13:40～16:00 講演

「地域包括ケアシステムを支える歯科診療所の役割とは？」
質疑応答

16:00 閉会 閉会后、修了証交付

申込方法 下記にて三重県歯科医師会までお申し込みください。

参加無料。申込多数の場合は、先着順とさせていただきます。

申込締切 2月20日（火）

※詳細は裏面をご覧ください。

※受講者には修了証を交付いたします。

※悪天候等により、やむなく中止となる場合は、3月3日（土）正午までに三重県歯科医師会ホームページに掲載いたします。

第8回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座 参加申込用紙

所 属・連絡先	名 前	職 種
TEL ()-()-()	フリガナ ()	

お問合せ 三重県歯科医師会事務局 締切 2月20日（火）

お申し込み 〒514-0003 津市桜橋2丁目120-2

TEL059-227-6488 **FAX059-227-0510**



【講演抄録】

「地域包括ケアシステムを支える歯科診療所の役割とは？」

医療法人社団 敬崇会 猪原歯科・リハビリテーション科
副院長 猪原 健 先生

一般的に、地域包括ケアシステムとは、重度な「要介護状態」となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステムとされている。現在、この「要介護状態」になってしまう原因としては、多い順に「脳卒中」「認知症」「フレイル」「転倒・骨折」「関節疾患」となっており、医療側から地域包括ケアを捉えた場合、これらの疾患の在宅療養支援が重要になってくると言える。特に上位3つについては、食や栄養との関連も大きく、歯科が関わるべき場面も多い。また「ときどき入院、ほぼ在宅」との標語もあるように、在宅だけでなく、病院との協働における食支援も重要となってくる。本講演においては、当院における在宅医療の取り組みに加え、福山市における歯科医師会と病院との連携など、具体例を交えながら、地域包括ケアにおける歯科の役割を考えていきたい。

【講師略歴】

医療法人社団 敬崇会 猪原歯科・リハビリテーション科 副院長

社会医療法人 祥和会 脳神経センター大田記念病院 非常勤歯科医

広島県福山市出身。2005年 東京医科歯科大学歯学部卒業、2009年 同大学院顎顔面補綴学分野修了(歯学博士)。日本大学歯学部摂食機能療法学講座非常勤医員、カナダ・アルバータ大学リハビリテーション医学部言語聴覚療法学科 Visiting Professor 留学を経て、2011年に実家の歯科医院の副院長となる。2014年 新築移転を期に歯科主導型の医科歯科併設診療所へ改組し、歯科・内科・訪問リハビリテーション事業所・歯科技工所・居宅介護支援事業所が一体として運営されるクリニックを運営。また、歯科訪問診療を行っていた脳神経センター大田記念病院(国内第3位の脳卒中患者数を誇る)に、歯科部門を立ち上げる。

<著書>

よくわかる高齢者歯科学(共著) 永末書店 2018年1月 刊行予定

たんぽぽ先生の在宅報酬算定マニュアル 第4版(共著) 日経BP社 2016年

顎顔面補綴の臨床—咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために(共著) 医学情報社 2006年

その他、クインテッセンス、日本歯科評論、デンタルダイヤモンド、月刊歯科衛生士、デンタルハイジーン、ヘルスケアレストラン、フィードノートなどで執筆多数

